

大学院入学試験問題集

令和7年度

心理科学研究科修士課程 - 臨床心理学専攻

■一般選抜試験前期.....	1
■一般選抜試験後期.....	10

金沢工業大学

■一般選抜試験前期 専門科目A 問題

以下の文章は心理学に関する一般的な記述です。それぞれの問題の解答を、解答用紙の所定の欄に記入しなさい。但し、解答に自分なりの説明を加えたい場合は、解答用紙の余白等を利用して記入しても構いません。

A1 以下の a、b の文章の内容が妥当な場合は○印、妥当でない場合に×印をつけたとき、最も適切な選択肢は以下のうちどれか。

- a. ケーラーは、観察学習の現象を明らかにした。
- b. ワトソンの行ったアルバート坊やの研究では、恐怖反応の般化も報告されている。

- ア. a-○、b-○
- イ. a-○、b-×
- ウ. a-×、b-○
- エ. a-×、b-×

A2 以下の a、b の文章の内容が妥当な場合は○印、妥当でない場合に×印をつけたとき、最も適切な選択肢は以下のうちどれか。

- a. 古典的条件づけにおいては、条件刺激に類似した他の刺激に対しても条件反応が生じる。これを般化と呼ぶ。
- b. オペラント条件づけにおいては、般化の現象は見られない。

- ア. a-○、b-○
- イ. a-○、b-×
- ウ. a-×、b-○
- エ. a-×、b-×

A3 ガルシアらの味覚嫌悪条件づけ（ガルシア効果）で、明らかになったことに○印を、明らかになっていないものに×印をつけなさい。

- a. 特定の手がかりと特定の事象の連合に選択性があること
- b. 条件づけが極めて迅速に起こること

- ア. a-○、b-○
- イ. a-○、b-×
- ウ. a-×、b-○
- エ. a-×、b-×

A4 以下の a、b の文章の内容が妥当な場合は○印、妥当でない場合に×印をつけたとき、最も適切な選択肢は以下のうちどれか。

- a. 記憶は、記銘、保持、想起の 3 つの過程に分けて理解することができる。
- b. このうち、想起は検索とも呼ばれることがある。

- ア. a-○、b-○
- イ. a-○、b-×

- ウ. a-×、b-○
- エ. a-×、b-×

A5 一般にビネー式の知能検査において、精神年齢 (MA) が 6 歳 0 ヶ月、生活年齢が 4 歳 0 ヶ月の場合、IQ の数値はいくつになるか。

A6 以下の a、b の文章の内容が妥当な場合は○印、妥当でない場合に×印をつけたとき、最も適切な選択肢は以下のうちどれか。

- a. エビングハウスは無意味綴りを使った記憶の実験を行った。
- b. アトキンソンとシフリンは、記憶の二重貯蔵庫モデルを提唱した。

- ア. a-○、b-○
- イ. a-○、b-×
- ウ. a-×、b-○
- エ. a-×、b-×

A7 以下の a、b の文章の内容が妥当な場合は○印、妥当でない場合に×印をつけたとき、最も適切な選択肢は以下のうちどれか。

- a. 感覚が生じるのに必要な最小の刺激強度を弁別閾と呼ぶ。
- b. 心理物理学の法則のうち、感覚 (R) は、刺激強度 (S) の対数に比例するとされる法則は、スティーブンスの法則である。

- ア. a-○、b-○
- イ. a-○、b-×
- ウ. a-×、b-○
- エ. a-×、b-×

A8 以下の a、b の文章の内容が妥当な場合は○印、妥当でない場合に×印をつけたとき、最も適切な選択肢は以下のうちどれか。

- a. 奥行き知覚が生じる際、水晶体の調節は手がかりとして機能しない。
- b. 奥行き知覚で用いられる手がかりのうち、線遠近法は両眼性の手がかりと考えられる。

- ア. a-○、b-○
- イ. a-○、b-×
- ウ. a-×
- エ. a-×

A9 隣のホームの電車が動き始めると、自分が乗っている電車は止まっているにもかかわらず、動き出すように感じる現象は何というか。

- ア. 運動失調
- イ. 運動残効
- ウ. 運動視差
- エ. 誘導運動

A10 以下の a、b の文章の内容が妥当な場合は○印、妥当でない場合に×印をつけたとき、最も適切な選択肢は以下のうちどれか。

- a. テッサーの自己評価維持モデルでは、自己関連性の低い課題や活動において、心理的距離が近い他者が、優れた成績を残したときには、栄光浴が生じると予測される。
- b. テッサーの自己評価維持モデルでは、自己関連性の高い課題や活動において、心理的距離が遠い他者が、優れた成績を残したときには、自尊心の低下が生じると予測される。

- ア. a-○、b-○
- イ. a-○、b-×
- ウ. a-×
- エ. a-×

A11 以下の a、b の文章の内容が妥当な場合は○印、妥当でない場合に×印をつけたとき、最も適切な選択肢は以下のうちどれか。

- a. 観察者自らが、観察対象に加わり、観察対象者と何らかのやり取りを行う方法を、参与観察法と呼ぶ。
- b. 非参与観察の一つで、ビデオなどの機器を用いて観察する方法を、間接的観察と呼ぶ。

- ア. a-○、b-○
- イ. a-○、b-×
- ウ. a-×
- エ. a-×

A12 調査を郵送法で行う場合の長所として妥当なものはどれか。長所として妥当な場合は○印、妥当でない場合に×印をつけたとき、最も適切な選択肢は以下のうちどれか。

- a. 回収率が高くなる。
- b. 代理回答を防げる。

- ア. a-○、b-○
- イ. a-○、b-×
- ウ. a-×
- エ. a-×

A13 以下の a、b の文章の内容が妥当な場合は○印、妥当でない場合に×印をつけたとき、最も適切な選択肢は以下のうちどれか。

- a. 中央値は、最大値と最小値を平均した値になる。
- b. 共分散は、-1 から+1 までの値をとる。

- ア. a-○、b-○
- イ. a-○、b-×
- ウ. a-×
- エ. a-×

A14 統計的検定に関する以下の a、b の文章の内容が妥当な場合は○印、妥当でない場合に×印をつけたとき、最も適切な選択肢は以下のうちどれか。

- a. p 値が小さいとき、母集団における「効果」は大きい。
- b. p 値が小さいとき、帰無仮説が正しい確率は小さい。

- ア. a-○、b-○
- イ. a-○、b-×
- ウ. a-×
- エ. a-×

A15 以下の a、b の文章の内容が妥当な場合は○印、妥当でない場合に×印をつけたとき、最も適切な選択肢は以下のうちどれか。

- a. ブローカ野は、前頭葉にある。
- b. ウェルニッケ野は、側頭葉にある。

- ア. a-○、b-○
- イ. a-○、b-×
- ウ. a-×
- エ. a-×

A16 以下の a、b の文章の内容が妥当な場合は○印、妥当でない場合に×印をつけたとき、最も適切な選択肢は以下のうちどれか。

- a. ピアジェは、具体的操作期の思考の特徴を「自己中心性」と考えた。
- b. ピアジェは、形式的操作期に到達してから「保存の概念」が成立すると考えた。

- ア. a-○、b-○
- イ. a-○、b-×
- ウ. a-×
- エ. a-×

A17 以下の記述が学習の転移と考えられる場合は○、学習の転移に該当しない場合は×を付けたとき、最も適切な選択肢は以下のうちどれか。

- a. ハーロウは、乳幼児の母性剥奪の研究やホスピタリズムの研究から、アタッチメント理論を提唱した。
- b. ボウルビイは、アカゲザルを対象として、針金製の代理母を用いた研究を行い、アタッチメントの形成について検討を行った。

- ア. a-○、b-○
- イ. a-○、b-×
- ウ. a-×
- エ. a-×

A18 以下の a、b の文章の内容が妥当な場合は○印、妥当でない場合に×印をつけたとき、最も適切な選択肢は以下のうちどれか。

- a. マーカスは自己効力感（セルフ・エフィカシー）の概念を提唱した。
- b. フェスティンガーは社会的比較理論を提唱した。

- ア. a-○、b-○
- イ. a-○、b-×
- ウ. a-×
- エ. a-×

A19 以下のデータセット [9, 5, 5, 7, 6, 8, 4, 5, 7, 5] の平均値と最頻値を求めなさい。

専門科目B 問題

以下の文章の問いの解答もしくは空欄に入る解答を、解答用紙の所定の欄に記入しなさい。解答に自分なりの説明を加えたい場合は、解答用紙の余白を利用して記入しても構いません。

B1	「1892年、ヴントのもとで学位取得後、ペンシルベニア大学の心理学実験室を受け継いだ。同時期、アメリカ心理学会の発起人の一人となった。1896年、世界最初の「心理クリニック」を開設し、学習や行動の問題をもつ児童らへの心理学的支援を行った。」この説明が示している人物は【 】である。
B2	Ellisの認知理論では、起こった出来事が非合理的な【 】を介して不安、うつ、問題行動などをもたらすと考える。
B3	1960年代にアメリカで誕生した【 】心理学の中心人物は、マズロー、パールズ、ロジャーズなどである。
B4	グループ・アプローチのひとつである「Tグループ」のTは【 】の頭文字をとったものである。
B5	森田療法の治療原理は東洋の人間理解に基づいており、基本的な精神病理仮説は「とらわれ(悪循環)」であるとされている。「とらわれ」とは、不安やうつなど自我異和的な体験に注意を引きつけられ、それを取り除こうとすればするほど、苦悩がつのる状態と説明できる。森田療法の基本的戦略の一つに、「症状、苦痛は【 】に受け入れていくこと」がある。
B6	種々の心理検査の起源を辿ると、以下ようになる。【 】の中に入る人名や検査名などを答えなさい。 1905年、【①】によって世界で最初の知能検査が作られた。 1919年、ウッドワースによって最初の【②】法によるパーソナリティ検査が作られた。 1921年、ロールシャッハによってロールシャッハ・テストが作られた。 1935年、【③】によってTAT(絵画統覚検査)が作られた。 1939年、ウェクスラーによって最初の【④】用知能検査が作られた。 1943年、ハサウェイとマッキンレイによって【⑤】(ミネソタ多面的人格目録)が作られた。
B7	【 】心理学は、「予防の重視、環境要因の重視、社会的文脈内存在としての人間、当事者や非専門家の視点、多職種による協働」といった価値観や理念をもっている。
B8	ユングの言語連想検査の方法は、【①】個の刺激語に対して、それぞれの連想を一語で求めて【②】を記録し、終了後に反応語の【③】を求めるというものである。
B9	米国の精神科医カーンバーグは、自我心理学の構造論と対象関係論のモデルを統合して【 】パーソナリティ障害を概念化した。
B10	令和4年4月1日から施行された改正少年法により、事件を起こした18歳と19歳は【 】として位置づけられている。これにより17歳以下の少年よりも起訴につながる対象事件が拡大され、起訴された後の実名報道が可能になった。
B11	次の描画法の創始者を解答欄に書きなさい。 ① バウムテスト→【 】、② Draw a Man test (DAM)→【 】
B12	エンプティ・チェアとは、【 】療法の一技法である。
B13	自殺の危険因子として、これまで多くの研究からその具体的項目が挙げられている。どのような個人の要因や環境の要因が危険因子として考えられるか、1つを選んで解答欄に書きなさい。

専門科目C 問題

以下の英文は、The oxford handbook of positive psychology という書籍 (Snyder, C. R., Lopez, S. J., Edwards, L. M., & Marques, S. C. 編, 2021, Oxford University Press) の第 18 章 Subjective Well-Being – *The Science of Happiness and Life Satisfaction* からの抜粋である。英文を読み、問 1~4 に回答しなさい。

Definition of Subjective Well-Being

Scientists who study subjective well-being assume that an essential ingredient of the good life is that the person herself likes her/his life. ㉔ Subjective wellbeing is defined as a person's cognitive and affective evaluations of his or her life as a whole. These evaluations include emotional reactions to events as well as cognitive judgments of satisfaction and fulfillment. Thus, subjective well-being is a broad concept that includes experiencing high levels of pleasant emotions and moods, low levels of negative emotions and moods, and high life-satisfaction.

(中略)

Measurement of Subjective Well-Being

Early survey instruments usually posed a single question about people's happiness or life satisfaction. As the field matured, more multi-item scales appeared, with greater 【 ㉕ 】 and validity than the single-item instruments. Lucas, Diener, and Suh (1996) demonstrated that multi-item life satisfaction, pleasant affect, and unpleasant affect scales formed factors that were separable from each other, as well as from other constructs such as self-esteem. Numerous happiness, affect, and life satisfaction measures are now available, and we present the five-item Satisfaction With Life Scale (Diener, Emmons, Larsen, & Griffin, 1985; Pavot & Diener, 1993) in the appendix.

A major concern of researchers in the field is whether self-report instruments are valid. After all, people might report that they are happy, yet not truly experience high subjective well-being. Sandvik, Diener, and Seidlitz (1993) found that the self-report measures converge with

other types of assessment, including expert ratings based on 【 ㉖ 】 with respondents, 【 ㉗ 】 measures in which feelings are reported at random moments in everyday life, participants' 【 ㉘ 】 for positive versus negative events in their lives, the 【 ㉙ 】 of family and friends, and smiling (see Schneider, & Schimmack, 2009, for review).

However, global judgments of life satisfaction do not faithfully 【 ㉚ 】 to the average mood or level of satisfaction experienced across many different moments or domains, because these judgments are likely to be influenced by a person's current mood, his or her beliefs about happiness, and the ease of retrieving positive and negative information (Robinson & Clore, 2002; Schwarz & Strack, 1999, for review; Kahneman, Krueger, Schkade, Schwarz, & Stone, 2004, for suggestions regarding solutions to these problems). Thus, additional assessment devices based on memory, informant reports, and experience-sampling are likely to supplement the information obtained from global measures (Schimmack, 2003; Scollon, Kim-Prieto, & Diener, 2003). In some cases, the alternative measures may yield different answers about who is happiest (e.g., Diener & Suh, 1999, Table 22.1; Oishi, 2002; Riis, Loewenstein, & Baron, 2005).

Although global reports are more 【 ㉛ 】 to judgmental biases than online reports, global reports of well-being are still valuable because (a) they offer insight into the fascinating psychological processes by which people construct global judgments about their lives, and (b) they often predict future decisions (Wirtz, Krueger, Scollon, & Diener, 2003) and important life outcomes

such as relationship stability (Oishi & Sullivan, 2006) better than 【 ④ 】 reports of well-being. In global reports, we also discover how a person summarizes her or his life as a whole, and this synopsis captures each person's values and individuality. Indeed, there are systematic individual and cultural differences in the type of information individuals use when making life-satisfaction judgments. For instance, achievement-oriented individuals judge their life satisfaction based largely on their success in achievement domains (Oishi, Diener, Suh, & Lucas, 1999), whereas sensation seekers judge their life satisfaction based on how much excitement they have in life (Oishi, Schimmack, & Colcombe, 2003). Furthermore, chronically happy people tend to report being very satisfied with a global

domain such as education, even when they are only mildly satisfied with the corresponding, specific domains such as textbooks and lectures. Interestingly, this positivity bias is particularly strong among Puerto Ricans and Colombians, and particularly weak among Japanese, Koreans, and Chinese (Diener et al., 2000). Thus, global reports of life satisfaction are not the arithmetic average of various life domains or moments, but reflect an individual's satisfaction with the personally important domains of life and their interpretation of overall life. ⑥
In a sense, then, these are two varieties of happiness and satisfaction— evaluations of specific aspects of life and online at the moment feelings of well-being versus larger, global judgments about one's happiness and satisfaction (Kim-Prieto, Diener, Tamir, Scollon, & Diener, 2005).

問1 下線部④を日本語に訳しなさい。

問2 文中の①～④の箇所は、元の語句を削除してある。削除した語句は次の表にランダムに並べてある（関係のない語句が4個含まれている）。①～④に入っていた語句を表から選び、その記号を解答用紙の①～④の欄に記入しなさい。

記号	語句	記号	語句
A	vulnerable	E	robust
B	global	F	momentary
C	authority	G	reliability
D	correspond	H	differ

問3 文中の㉗～㉙の箇所は、元の語句を削除してある。削除した語句は次の表にランダムに並べてある（関係のない語句が2個含まれている）。㉗～㉙に入っていた語句を表から選び、その記号を解答用紙の㉗～㉙の欄に記入しなさい。

記号	語句	記号	語句
A	experiments	D	scales
B	experience-sampling	E	interviews
C	reports	F	memory

問4 下線部⑬を日本語に訳しなさい。

■解答

専門科目 A・B 解答

問題 A 解答欄							
A1	ウ	A6	ア	A11	ア	A16	エ
A2	イ	A7	エ	A12	エ	A17	エ
A3	ア	A8	エ	A13	エ	A18	ウ
A4	ア	A9	エ	A14	エ	A19	平均値 6.1
A5	150	A10	イ	A15	ア		最頻値 5

問題 B 解答欄							
B1	ウイトマー	B6	① ビネー	B7	コミュニティ	B10	特定少年
B2	信念		② 質問紙	B8	① 100	B11	① コッホ
B3	人間性		③ マレー(マレー)		② 反応時間		② ゲッドイフ
B4	Training		④ 成人		③ 再生	B12	ゲシュタルト
B5	あるがまま		⑤ MMP I	B9	境界性	B13	貧困、精神疾患、喪失体験、自殺未遂歴、虐待、孤立など

■解答

専門科目 C 解答

問 1

主観的ウェルビーイング（幸福感）は、人生全体に対するその人の認知的および感情的評価として定義される。

これらの評価には、（人生に対する）満足感や充足感に関する認知的判断だけではなく、ライフイベントに対する感情的反応も含まれる。

問 2

①	②	③	④
G	D	A	F

問 3

㉞	㉟	㊱	㊲
E	B	F	C

問 4

したがって、ある意味では、幸福感と（人生）満足感には二つの種類があるといえる。

一つは、人生のある特定の側面の評価や、今（進行中）のある瞬間のウェルビーイングの感情に対する評価であり、もう一つは、その人の幸福感や（人生）満足感に対するより大きな、全体的な判断である。

■ 一般選抜試験後期 専門科目A 問題

以下の文章は心理学に関する一般的な記述です。それぞれの問題の解答を、解答用紙の所定の欄に記入しなさい。但し、解答に自分なりの説明を加えたい場合は、解答用紙の余白等を利用して記入しても構いません。

A1 以下の a、b の文章の内容が妥当な場合は○印、妥当でない場合に×印をつけたとき、最も適切な選択肢は以下のうちどれか。

- a. 古典的条件づけにおいては、条件刺激と無条件反応との対呈示により、条件づけが成立する。
- b. オペラント条件づけにおいて消去とは、同一の刺激が繰り返し提示されることで、反応が生じなくなることを指す。

- ア. a-○、b-○
- イ. a-○、b-×
- ウ. a-×、b-○
- エ. a-×、b-×

A2 以下の a、b の文章の内容が妥当な場合は○印、妥当でない場合に×印をつけたとき、最も適切な選択肢は以下のうちどれか。

- a. ネコを問題箱に入れて、外に出る行動を観察すると、様々な行動を自発しつつ、次第に適切な行動だけを自発していくようになる。こういった学習を洞察学習と呼ぶ。
- b. A は自転車を運転中、スマートフォンの画面を操作していた。そのため障害物に気づかず、転倒して前歯を折ってしまった。それ以来、A は自転車を運転中、スマートフォンを操作するのをやめた。これは、正の弱화에該当する。

- ア. a-○、b-○
- イ. a-○、b-×
- ウ. a-×、b-○
- エ. a-×、b-×

A3 以下の a、b の文章の内容が妥当な場合は○印、妥当でない場合に×印をつけたとき、最も適切な選択肢は以下のうちどれか。

- a. セリグマンは、イスを被験体として学習性無力感の実験を行った。
- b. セリグマンは、条件刺激と無条件刺激の組み合わせにおいて、生得的に条件づけが容易な組み合わせと条件づけが困難な組み合わせがあると主張した。

- ア. a-○、b-○
- イ. a-○、b-×
- ウ. a-×、b-○
- エ. a-×、b-×

A4 以下の a、b の文章の内容が妥当な場合は○印、妥当でない

場合に×印をつけたとき、最も適切な選択肢は以下のうちどれか。

- a. 一連の項目を記憶する課題において、提示された項目の位置によって、記憶成績に違いが生じる。これを系列位置効果と呼ぶが、最初の方に提示された項目の記憶成績が良いことを新近性効果と呼ぶ。
- b. 系列位置効果における新近性効果は、記憶リスト提示終了後に暗算などのいわゆる干渉課題を実施しても、影響を受けないことが報告されている。

- ア. a-○、b-○
- イ. a-○、b-×
- ウ. a-×、b-○
- エ. a-×、b-×

A5 A さんはある学力試験で 90 点をとった。この試験の平均点は 75 で、標準偏差は 5 であった。A さんの z 得点 (標準得点) はいくらになるか。

A6 以下の a、b の文章の内容が妥当な場合は○印、妥当でない場合に×印をつけたとき、最も適切な選択肢は以下のうちどれか。

- a. アトキンソンとシフリンの記憶の二重貯蔵庫モデルでは、記憶刺激の入力順に、3 種 (段階) の貯蔵庫モデルが採用されている。
- b. アトキンソンとシフリンの記憶の二重貯蔵庫モデルにおいて、ワーキングメモリの概念が提唱された。

- ア. a-○、b-○
- イ. a-○、b-×
- ウ. a-×、b-○
- エ. a-×、b-×

A7 以下の a、b の文章の内容が妥当な場合は○印、妥当でない場合に×印をつけたとき、最も適切な選択肢は以下のうちどれか。

- a. 二つの静止刺激を適当な時間間隔で呈示すると、あたかも実際に運動しているかのように見える現象を自動運動と呼ぶ。
- b. 丁度可知差異は、弁別閾と呼ばれることもある。

- ア. a-○、b-○
- イ. a-○、b-×
- ウ. a-×、b-○
- エ. a-×、b-×

A8 以下の a、b の文章の内容が妥当な場合は○印、妥当でない場合に×印をつけたとき、最も適切な選択肢は以下のうちどれか。

- a. 社会的比較理論において、自らの自尊心を維持、または上昇させるために、自分よりも低い、あるいは悪い状況にある個人と比較する下方比較は、自己向上動機に基づいて行われると考えられる。
- b. ソシオメーター理論によれば、羞恥心は他者からの受容や拒絶を監視する尺度（指標）と考えられる。

- ア. a-○、b-○
- イ. a-○、b-×
- ウ. a-×、b-○
- エ. a-×、b-×

A9 以下の a、b の文章の内容が妥当な場合は○印、妥当でない場合に×印をつけたとき、最も適切な選択肢は以下のうちどれか。

- a. 実験的研究は観察的研究よりも因果関係の同定に有利である。
- b. 実験的研究を行うことが倫理的問題を引き起こすような研究テーマでも、観察的研究では、相対的にそのリスクを避けて実行できる。

- ア. a-○、b-○
- イ. a-○、b-×
- ウ. a-×、b-○
- エ. a-×、b-×

A10 項目分析の方法で、尺度の合計得点から対象者を上位群と下位群に分割し、項目ごとに上位群の得点と下位群の得点を比較して、差が見られるかを検討する方法は、次のうちどれか。選択肢から一つ選べ。

- ア. α 係数
- イ. G-P 分析
- ウ. 因子分析
- エ. IT 相関

A11 調査の方法には、面接調査、郵送調査、電話調査、留置調査、集合調査などがある。留置調査の長所として妥当なものはどれか。長所として妥当な場合は○印、妥当でない場合に×印をつけたとき、最も適切な選択肢は以下のうちどれか。

- a. 記入漏れがなくなる。
- b. 回収率が高い。

- ア. a-○、b-○
- イ. a-○、b-×
- ウ. a-×、b-○
- エ. a-×、b-×

A12 ピアソンの積率相関係数を求める際、使用しない統計量（指標）を次から選べ。

- ア. 共分散
- イ. 標準偏差
- ウ. 中央値
- エ. 平均値

A13 検定力に関する以下の a、b の文章の内容が妥当な場合は○印、妥当でない場合に×印をつけたとき、最も適切な選択肢は以下のうちどれか。

- a. 他の条件が一定なら、サンプルサイズが大きいほど検定力も大きくなる。
- b. 検定力が .6 とは、存在する効果を見逃す確率が .4 であるということ意味する。

- ア. a-○、b-○
- イ. a-○、b-×
- ウ. a-×、b-○
- エ. a-×、b-×

A14 以下の a、b の文章の内容が妥当な場合は○印、妥当でない場合に×印をつけたとき、最も適切な選択肢は以下のうちどれか。

- a. ドーパミンは、動機づけに関わる神経伝達物質と考えられる。
- b. セロトニンは、抗うつ薬の作用機序に関係する神経伝達物質である。

- ア. a-○、b-○
- イ. a-○、b-×
- ウ. a-×、b-○
- エ. a-×、b-×

A15 以下の a、b の文章の内容が妥当な場合は○印、妥当でない場合に×印をつけたとき、最も適切な選択肢は以下のうちどれか。

- a. 自律神経系は、交感神経と副交感神経に分類できる。
- b. 自律神経の働きは、犯罪捜査の過程で虚偽検出に利用される。

- ア. a-○、b-○
- イ. a-○、b-×
- ウ. a-×、b-○
- エ. a-×、b-×

A16 以下の a、b の文章の内容が妥当な場合は○印、妥当でない場合に×印をつけたとき、最も適切な選択肢は以下のうちどれか。

- a. ヴィゴツキーは、発達の最近接領域を主張した。
- b. ヴィゴツキーは、主に大人や養育者の教育的働きかけ・援助を「足場」と呼んだ。

- ア. a-○、b-○
- イ. a-○、b-×
- ウ. a-×、b-○
- エ. a-×、b-×

A17 以下の a、b の文章の内容が妥当な場合は○印、妥当でない場合に×印をつけたとき、最も適切な選択肢は以下のうちどれか。

- a. 1905 年のビネー・シモン検査で初めて IQ が採用された。
- b. レイモンド・キャッテルは、Sixteen Personality Factor (16PF) Questionnaire (16 パーソナリティ質問紙) を開発した。

- ア. a-○、b-○
- イ. a-○、b-×
- ウ. a-×、b-○
- エ. a-×、b-×

A18 以下の a、b の文章の内容が妥当な場合は○印、妥当でない場合に×印をつけたとき、最も適切な選択肢は以下のうちどれか。

- a. ワイナーは、失敗や成功に関する原因帰属を記述する 3 次元として、原因の所在、安定性、統制可能性を提唱した。
- b. 成功を運に帰属する場合、統制可能性の次元では、「統制可能」に分類される。

- ア. a-○、b-○
- イ. a-○、b-×
- ウ. a-×、b-○
- エ. a-×、b-×

A19 以下の a、b の文章の内容が妥当な場合は○印、妥当でない場合に×印をつけたとき、最も適切な選択肢は以下のうちどれか。

- a. ブルームは、学習者が能動的に知識の生成過程をたどることにより、知識を発見し学習する学習法を「発見学習」として提唱した。
- b. クロンバックは学習者の適性と処遇(指導法)には交互作用があり、両者の組み合わせによって学習効果は異なると主張した。

- ア. a-○、b-○
- イ. a-○、b-×
- ウ. a-×、b-○
- エ. a-×、b-×

A20 以下の a、b の文章の内容が妥当な場合は○印、妥当でない場合に×印をつけたとき、最も適切な選択肢は以下のうちどれか。

- a. ラッセルは、「快-不快」「外的-内的」の感情の円環モデルを提唱した。
- b. ジェームズ・ランゲ説では、身体反応が感情体験に先行すると考える。

- ア. a-○、b-○
- イ. a-○、b-×
- ウ. a-×、b-○
- エ. a-×、b-×

専門科目B 問題

以下の文章の問いの解答もしくは空欄に入る解答を、解答用紙の所定の欄に記入しなさい。解答に自分なりの説明を加えたい場合は、解答用紙の余白等を利用して記入しても構いません。

B1	行動療法の技法のうち、①適応行動を形成する技法と②不適応行動を弱める技法を、1つずつ解答欄に書きなさい。
B2	トラウマケアに関わる支援者があたかもその出来事を経験したような反応に陥った結果、【 】疲労が起こる。これは二次的外傷性ストレスと呼ばれ、支援者自身が家族と不仲になったりするなど、個人的生活にも影響を与えることがある。
B3	心理面接中、カウンセラーがクライアントの感情や心情を理解するために、言語的内容に加えて注目するクライアントの非言語的特徴には何があるか、2つ挙げなさい。
B4	描画法における風景構成法とは、風景に含まれるアイテムを支援者が順に提示し、その順に描画を進め、最終的に1つの風景として完成してもらう描画法である。提示するアイテムや順番は決まっており、最初に提示する2つは【① 】【② 】である。
B5	次の文章が示す心理職の活動は何か、解答欄に書きなさい。 「自分のクラスの児童のことで困っている教師からの依頼に対し、教師がその児童をより一層理解し、問題解決できるよう、心理職がその専門性を生かして協力する。その際、心理職は直接児童に会うことはなく、教師がどのように児童と関わればよいかを話し合い、間接的に児童の支援を行っていく」
B6	保護観察の対象者はどのような人か、空欄【 】を埋めなさい。 保護観察に付された少年、【① 】からの仮退院者、刑事施設からの仮釈放者、【② 】付き執行猶予者
B7	心理検査のSCTの日本語での名称は【① 】である。パーソナリティの特徴を把握する心理検査であり、反応の自由度は、【② 】法よりは広く、ロールシャッハ・テストやTAT等の投射法よりは狭く限定されたものになる。
B8	意識障害の説明する際、意識混濁を表す用語で最も重い状態を表すのは、昏蒙、昏睡、明晰困難状態、嗜眠のうち、【 】である。
B9	「新フロイト派の一人」、「対人関係論」、「関与しながらの観察」というキーワードで説明される人物は【 】である。
B10	ブリーフセラピーにおける【 】アプローチには、次のような特徴がある。 「問題やその原因」を追究するのではなく、解決に役に立つその人の「リソース（資源）」に焦点をあて、それを有効に活用すること。
B11	晩年のロジャーズの関心は、個人のクライアントや臨床群だけでなく、一般の人の心理的成長や組織、国際問題などに対する【 】・グループによる社会貢献にまで広がった。
B12	認知症の中核症状には、たった今のことも忘れて新しいことが覚えられない【① 】障害、今自分がいる場所や時間などがわからなくなる【② 】障害等がある。
B13	【① 】精神医学では、医療現場で精神医療の専門家が他の診療科スタッフと協力体制を取りながら、チームを組織してトータルな医療サービスを行う。これは身体疾患の治療経過中に現れるさまざまな【② 】の症状に対処し、総合的に治療を進めようとするものである。

専門科目C 問題

以下の英文は、The oxford handbook of positive psychology という書籍 (Snyder, C. R., Lopez, S. J., Edwards, L. M., & Marques, S. C. 編, 2021, Oxford University Press) の第 40 章 Progress in the Science of Gratitude からの抜粋である。英文を読み、問 1~4 に回答しなさい。

Defining and Measuring Gratitude

When discussing the construct and measurement of gratitude, it is important to consider the level of analysis (Rosenberg, 1998). Gratitude has been conceptualized and measured at two distinct levels: state and trait. ① “State gratitude” refers to one’s momentary experience of grateful emotion. We offer the following definition of state gratitude: An individual experiences the emotion of gratitude when they affirm that something good has happened to them, and they recognize that someone else is largely responsible for this benefit (derived from Emmons, 2004). In our definition, “someone else” could be a supernatural being as well as a human benefactor. Our conception of a perceived benefit is also somewhat broad, and extends beyond the obvious positive benefits that might be added to one’s life. A perceived benefit might also be the awareness of the absence of some negative event (e.g., when your plane lands safely in the midst of a severe lightning storm). Although people may feel grateful toward impersonal forces and objects (e.g., “I feel so grateful that luck was with me on that plane trip”), we submit that, in these cases, people are implicitly appraising intentional benevolence on the part of the impersonal benefactor.

How can one measure the state of gratitude? It appears that a simple but effective assessment is having individuals respond to three adjectives (grateful, thankful, and appreciative; McCullough, Emmons, & Tsang, 2002). The so-called ② Gratitude Adjectives Scale (GAS) is an effective assessment of momentary gratitude.

Although grateful emotion clearly covaries with other positive emotions (Watkins, Scheer, Ovnicek, & Kolts, 2006), it seems to be more closely related to some aspects

of positive affect than others. Recently, we have investigated how gratitude might be related to joy. We used the Extended Positive and Negative Affect Scales (PANAS-X) along with the adjectives of the GAS in seven studies (McCurrach, 2015). Six factors reliably emerged from the positive adjectives of the PANAS, and the adjectives of the GAS always emerged as a unique factor. Interestingly, the gratitude factor was invariably most strongly correlated with the joy (or “joviality”) factor. Recent theoretical work on the construct of joy has argued that it should be distinct from, but closely related to, gratitude. These studies appear to 【 ① 】 this notion. Moreover, in two studies, we found that gratitude predicted future increases in joy (Bell, 2015). We believe that the study of joy as an emotion distinct from happiness may be important to our understanding of gratitude. If gratitude is a process important to the experience of joy, this provides a unique opportunity for future research.

When considering the construct of gratitude, it is important to 【 ② 】 gratitude from other emotional states. For example, many in the social sciences have assumed that gratitude is synonymous with indebtedness (feeling obligated to repay). However, several studies have now provided evidence that these should be viewed as distinct states (e.g., Algoe, Haidt, & Gable, 2008). In several studies, we were able to dissociate gratitude from indebtedness (Watkins et al., 2006; Watkins, 2014b), although 【 ③ 】 shows curious moderations of the relationship between gratitude and indebtedness. For example, we have found only trivial correlations between gratitude and indebtedness in women, but indebtedness is

strongly and positively correlated with gratitude in men (Uhder, Watkins, & Ovnicek, 2009). The relationship between gratitude and indebtedness should continue to be an important issue in the science of gratitude.

At a higher level, we can consider the affective trait of gratitude. “Trait gratitude” refers to one’s disposition for gratitude. If an individual is high in trait gratitude, then they should experience gratitude more easily and more frequently than someone who is not a grateful person. The disposition of gratitude more closely approximates what we mean when we discuss the virtue of gratitude. To our knowledge, there are three well-developed measures of dispositional gratitude. McCullough et al. (2002) introduced the Gratitude Questionnaire-6 (GQ-6), a short, but reliable measure of trait gratitude. The Gratitude, Resentment, and Appreciation Test (GRAT) appears to be a more subtle measure of dispositional gratitude (Watkins, Woodward, Stone, & Kolts, 2003). Whereas the GQ-6 is a unifactorial measure of trait gratitude, the GRAT is a measure that attempts to assess three lower-order characteristics of the grateful person. We have proposed that grateful individuals should have a sense of abundance (or negatively, a lack of a sense of deprivation), a sense of simple appreciation (they appreciate the day-to-day pleasures available to most individuals), and an appreciation of others. Thus the GRAT focuses on these facets of trait gratitude. A third

reliable measure of trait gratitude would be the gratitude subscale of the Values in Action Scale (Peterson & Seligman, 2004). If one were interested in assessing gratitude in the context of other virtues, this scale would appear to be ideal. One may also assess appreciation more generally (Adler & Fagley, 2005), and it is quite likely that this scale is assessing the psychological qualities of trait gratitude (Wood, Maltby, Stewart, & Joseph, 2008).

© Although these instruments appear to be effective measures of gratitude, they suffer from the same problems as all self-report measures, and with socially desirable traits such as gratitude, this could pose a significant problem for some research protocols. Thus, in some studies, informant reports may be preferred (McCullough et al., 2002), or behavioral markers of gratitude such as verbal expressions of thanks or reciprocity behavior. The development of an 【 ④ 】 gratitude measure also would be a useful advance. Although gratitude has been well studied at the levels of state and trait, the “intermediate affective terrain” of grateful mood has been largely unexplored. Indeed, we know of only one paper that has targeted grateful mood (McCullough, Tsang, & Emmons, 2004), and this seems to be an important issue for our understanding of gratitude.

問1 下線部①を日本語に訳しなさい。

問2 下線部②の Gratitude Adjectives Scale (GAS)とはどのようなものか、問題文から読み取れる範囲で説明しなさい。

問3 文中の①～④の箇所は、元の語句を削除してある。削除した語句は次の表にランダムに並べてある（関係のない語句が4個含まれている）。①～④に入っていた語句を表から選び、その記号を解答用紙の①～④の欄に記入しなさい。

記号	語句	記号	語句
A	age	E	gender
B	implicit	F	explicit
C	support	G	contradict
D	make	H	distinguish

問4 下線部③を日本語に訳しなさい。

■解答

専門科目 A・B 解答

問題 A 解答欄							
A1	エ	A6	イ	A11	ウ	A16	ア
A2	ウ	A7	ウ	A12	ウ	A17	ウ
A3	ア	A8	エ	A13	ア	A18	イ
A4	エ	A9	ア	A14	ア	A19	ウ
A5	3	A10	イ	A15	ア	A20	ウ

問題 B 解答欄							
B1	①シエティング、トークンエコノミー、プロンプト	B4	① 川	B7	① 文章完成法	B11	エンカウンター
	②タイムアウト、レスポンス・コスト		② 山		② 質問紙	B12	記憶・記銘
B2	共感	B5	コンサルテーション	B8	昏睡		
B3	視線、姿勢、声、ジェスチャーなど	B6	① 少年院	B9	サリバン	B13	リエゾン
	視線、姿勢、声、ジェスチャーなど		② 保護観察	B10	解決志向		精神疾患

■解答

専門科目 C 解答

問 1

「状态的な感謝」とは、感謝の感情の瞬間的な（一時的な）経験のことを指している。

また我々は「状态的な感謝」について次のような定義を提案する。それは、自分に何か良いことが起こり、その恩恵が主に他の誰かによってもたらされた時に生じる、感謝の感情の個人的な経験という定義である。

問 2

①状态的（一時的、瞬間的）な感謝の測定、②単純で効果的なアセスメント手法、③形容詞への回答によって測定、
③形容詞は grateful（恩謝）、thankful（感謝）、appreciative（賞賛）の3つ

問 3

①	②	③	④
C	H	E	B

問 4

これらの測定方法は、感謝に対する有効な測定のように見えるが、その他の自己報告測定と同様のいくつかの問題を抱えている。

そして、感謝のような社会的に望ましい特性を扱う場合、研究の実施手順によっては重大な問題が引き起こされる可能性がある。